

平成 27 年 「論語」に学ぶ人間学セミナー  
ービジネスリーダーとしての生き方を求めてー[第 4 回]

- ・日時 平成 27 年 5 月 13 日 (水) 18 時 30 分～20 時
- ・会場 龍野経済交流センター 2 階会議所ホール (たつの市龍野町富永 702-1)
- ・内容 ①仮名論語 「里仁第四」  
②楽しい論語塾 「教育者としての孔子 (2)」  
③子々孫々に語りつぎたい日本の歴史  
「反日運動を助長させた政治家・マスコミの罪」
- ・講師 英齋塾 (人間学探求) 塾長 三木英一氏
- ・受講料 無料 (教材費 2,000 円)
- ・参加者 60 名

○受講内容

まずは仮名論語「里仁第四」の素読をおこないました。

皆さん背筋を伸ばし姿勢正しくしっかりと読まれ、よく声もそろっていました。

「里仁」は仁の心をもつこと。造次・顛沛などの論語でしか出てこないようか言葉も学ばせて頂きました。中でも「参や吾が道は一似て之を貫く。」「君子は義に喻り、小人は利に喻る。」という言葉は印象に残り、身の引き締まるような気持ちになりました。

その後、楽しい論語塾より前回に続き「教育者としての孔子 (2)」の講義をしていただきました。

「故きを温ねて新しきを知れば、以って師と為るべし」昔の人の教えや過去のことを学習し、そこから新しい考え方や取組み方をみつけられれば、人を教える先生と為る事が出来る。

「新しきを知る」ためには「故きを温ねる」ことが大切でただ学ぶのみではなく「以って師と為るべし」身につけたものを生かすことも大切で「温故知新」という言葉に習い実行していきたいと感じました。

「功言令色、鮮し仁」「剛毅木訥、仁に近し」口先よりもハートで行動できる人に・・・シンプルですがとても心に残ることばでした。

引き続き、子々孫々に語りつぎたい日本の歴史より「反日運動を助長させた政治家・マスコミの罪」の講義をしていただきました。

前回の残りが少しありましたので、第一章をすこし講義していただき、その後、本日のテーマを講義していただきました。

「精神的カルタゴの平和」の哲学。豊かさというのは、人類が目指していい正しい課題。しかし、豊かさにたどり着いてみると、目指すエネルギーが弱くなって、もう夢を見なくなり、耐える力が萎えてしまう。心の教育が必要ということを教えて頂き、まさに今行っ

ている論語などは心の教育だと感じました。

「靖国参拝問題」の始まりの話や「近隣諸国条項」のこと「従軍慰安婦」という言葉など、今まで何気に聞いていた言葉の真意をわかりやすく講義していただきました。

前回に続き、自分の歴史認識の不勉強さを感じながら、また本当に集中し学ぶことが出来た良い時間が参加された皆様と共有することが出来たように思います。

本当の歴史というものを語って頂ける方がいるうちに真実を学び、伝えていく必要性を深く感じました。

次回、第5回目も受講される皆様により良いセミナーとなるようお手伝いさせていただきながら、実のあるセミナーづくりを心がけたいと思います。